

交流・防災施設の「いつも」と「もしも」の機能を考慮した平面計画

周囲に溶け込む風景と人々の居場所を一体でつくる

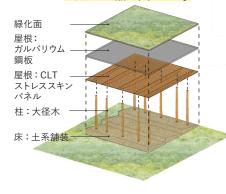
- ●緩やかな勾配の斜面をつくることで、平時と有事共に障壁となる体育館とグランドレベ ルの段差を解消し、敷地全体を一体的に活用できようにします。
- ●<mark>斜面を切り取って持ち上げることで屋根を作り</mark>、地形と建築が融合した風景と、地域の 人々のための心地良い居場所を生み出します。
- ●南北の分棟配置によって敷地内の各機能をつなぎ、利便性を向上させます。



県産材の活用・環境配慮・省エネ・コストを考慮した計画

県産材料を活用した構造形式

- ●柱に大径木を用い根元を剛接合、柱頭を ●植物による蒸散効果に 野芝 ピン接合にすることでブレースの無い開放 より、屋根や天井面の熱 _{専用+} 的な空間を実現します。
- ●屋根は最大幅 2700mm、長さ 12m のス ●屋根面に散水設備を組 トレススキンパネルとし、落とし込み施工と み込みローメンテナンス することで<mark>工期の短縮を図ります。</mark>

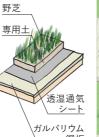


草屋根による熱負荷の軽減

負荷を軽減します。

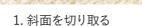
可能な工法を採用します。

●雨水を集水し、散水や 中水に活用し、ランニン グコストの縮減を図ます。



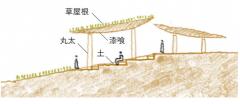




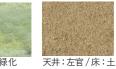




2. 斜面を屋根にして浮かべる



3. 屋根を丸太で支え、南北に建築群をつくる と安心感のある居場所をつくります。



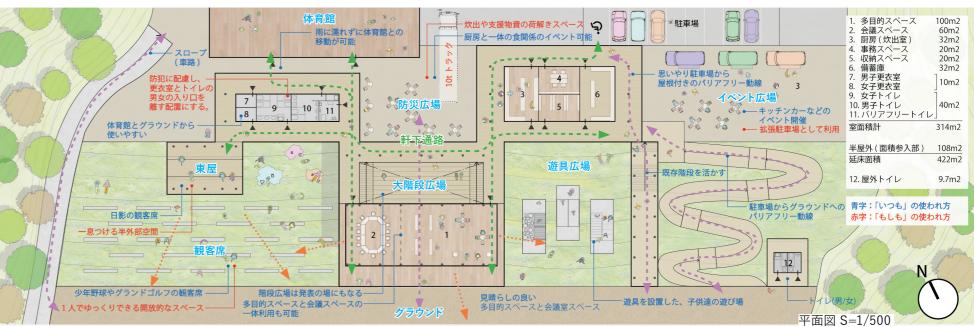




●緑化屋根、大径木の柱、土で仕上げた 天井と床によって、自然素材による温かみ







計画斜面



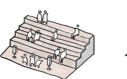




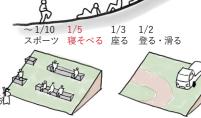
ユニバーサルデザインに配慮した計画・コストを考慮した計画

多様な使い方を受け止め、コストに配慮した造成計画

- ●既存擁壁を基点に<mark>盛土と切土および基礎 切り盛りの土量を揃える</mark> 掘削の土量を考慮し、場外搬入出が少なく コストに配慮した造成計画とします。
- ●斜面勾配は 1/5 を基本とし、誰でも自由 に寝そべることができる斜面とします。
- ●建物の用途と連動して用途の異なる広場 を設け、住民の多様なニーズに答えます。
- ●有事の際は車路としても活用できるス ロープを設け、駐車場からグラウンドをバリ アフリー動線でつなぎます。







既存擁壁

勾配とアクティビティ

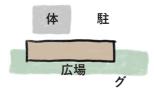
大階段広場(カルチャー) 遊具広場 (Play)

観客席(スポーツ)

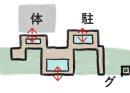
交流・防災施設の「いつも」と「もしも」の機能を考慮した平面計画・

多様な場所と関係性をつくり出す平面計画

- ●凹凸のある分棟形式とすることで、多様で小さな広場をつくり出し、「いつも」の使い やすさと「もしも」で必要となる機能を両立する計画とします。。
- ●体育館・駐車場・グラウンドなどの既存施設を繋ぐ役割を担い、敷地全体の一体的な 活用を促す計画とします。







一つの屋根:大きな広場

分棟:小さく多様な広場

分棟: 既存施設と連携

既存施設や体育館やグランドとの総合的なつながりを考慮した外構配置計画-

「いつも」をより良く・「もしも」に使いやすい外構ゾーニング

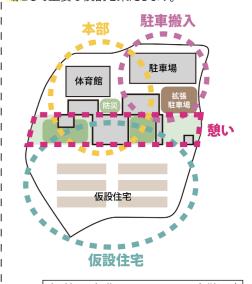
いつも(平時)の外構ゾーニング

- ●スポーツ・カルチャー・PLAY の3つのエリア」●本部・駐車搬入・仮設住宅・憩いの4つのエ
- ●既存体育館とグランドの間の斜面に観客席と」●既存体育館・多目的室・厨房・防災広場が
- ●中央の下段部分は発表やイベントが開催でき | 部機能をまとめます。 せてカルチャーエリアとします。
- ●東側に駐車場・スロープ・イベント広場・遊 「●上記のエリアを繋ぐ斜面は避難生活が長期 します。

「もしも(有事)の外構ゾーニング

- _Iリアをつくります。
- 東屋を計画し、スポーツエリアを形成します。 I 一体となり支援物資の荷解き・炊き出しなど本
- る大階段を設け、上段の多目的・会議室と合わ | ●イベント広場は拡張駐車場として活用します。
 - ●グラウンドは仮設住宅・ヘリ発着場とします。
- 具広場を設け、日常的に集える PLAY エリアと 「化する際にも一人になれたり、ゆっくりできる 場として重要な役割を果たします。





概算工事費:350百万円(税込)